

平素は市立伊丹ミュージアムの企画運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。11月19日（土）より市立伊丹ミュージアムにて開催いたします「伊丹国際クラフト展“酒器・酒盃台”」入選作品展のご案内をさせていただきます。情報掲載につきまして、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022 伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」

会期：2022年11月19日（土）-12月25日（日） 月曜休館（祝日の場合翌平日）

開館時間：10：00～18：00（入館は17：30）入場無料

場所：市立伊丹ミュージアム 地下1階 展示室6

主催：市立伊丹ミュージアム [伊丹ミュージアム運営共同体事業 / 伊丹市]



大賞
當眞 清乃（とうま きよの）
《清琉璃盃（せいりゅうかいはい）》夜光貝

1989年に始まった伊丹クラフト展は1998年に伊丹国際クラフト展としてより大きな公募展に切り替わり、主題を「ジュエリー」「酒器・酒盃台」として交互に開催し、今年で23回目を迎えます。今年は「酒器・酒盃台」をテーマに作品を募集したところ、海外8ヶ国44名を含む、計204名による総数1,152点の応募がありました。厳正な審査の結果、90名（海外21名）が入選、そのうち8名（海外2名）が入賞と、国際展の名にふさわしい力作が世界各国から集まりました。

本展では大賞「清琉璃盃（せいりゅうかいはい）」をはじめ、入賞・入選作品をご紹介します。また、作品は購入することが可能です（一部除く）。作家たちが「日本酒の文化」と向き合い表現した、多様な「酒器・酒盃台」をお楽しみいただければ幸いです。

審査員：

審査員長 小清水漸（彫刻家・京都市立芸術大学 名誉教授）、伊藤隆（金工作家・伊丹ジュエリーカレッジ 名誉講師）、小西新右衛門（小西酒造株式会社 代表取締役社長）、崔宰熏（デザイナー・愛知県立芸術大学 教授）、外館和子（工芸評論家・工芸史家・多摩美術大学 教授）、松島巖（ガラス工芸作家）、山村慎哉（漆工芸作家・金沢美術工芸大学 教授）

■関連イベント

①表彰式

日時：2022年11月19日（土）13:00～

場所：市立伊丹ミュージアム 旧岡田家住宅・酒蔵

※どなたでもご参加いただけます



旧岡田家住宅

お問合せ：市立伊丹ミュージアム / 担当 藤川

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20 月曜休館（祝日の場合翌平日）

TEL:072-772-5557 / FAX:072-772-5558 / fujikawa@itami-im.jp / https://itami-im.jp/

②審査員によるトークイベント

「審査を終えて、あんなこと、こんなこと」

2022年11月19日(土)14:30頃から1時間程度

(先行する表彰式の終了時刻により、変更する可能性あり)

場所：市立伊丹ミュージアム1階講座室

定員：70名(先着順)

参加料：無料

本展の審査を行った審査員たちによる、今回の審査について振り返ってみる座談会。

クラフト展審査の裏側が垣間見られるかも!?

※その他のイベントにつきましてはホームページをご確認ください。

< 入賞作品 >



大賞
眞 清乃
《清琉貝盃(せいりゅうかいはい)》



準大賞(白雪・伊丹諸白賞)
SON Kenny Yong-soo (オーストラリア)
《925 Heptadecagonal Shuki & Shuhaidai



伊丹賞
清水 克悦/高橋 善丸
《山箱(YAMAHAKO)》



優秀賞(白雪賞)
増原 嘉央理
《紅白鮮》



奨励賞(老松賞)
KIM Hee Sun (韓国)
《Overflowed》



奨励賞(光陽社賞)
エンドウ トオル
《酒飾(サケカザリ) ①RED ②BLUE》



グッドマテリアル賞(佐竹ガラス賞)
桜屋(中川 智弘)
《磐座の宴(いわくらのうたげ)》



審査員賞(伊丹酒造組合賞)
小林 純生
《酒机(折りたたみ式)》

協賛：小西酒造株式会社、伊丹老松酒造株式会社、株式会社光陽社、佐竹ガラス株式会社、伊丹酒造組合

後援：近畿経済産業局、兵庫県、一般社団法人総合デザイナー協会(DAS)、株式会社ベイ・コミュニケーションズ、伊丹まち未来株式会社

お問合せ：市立伊丹ミュージアム / 担当 藤川

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20 月曜休館(祝日の場合翌平日)

TEL:072-772-5557 / FAX:072-772-5558 / fujikawa@itami-im.jp / https://itami-im.jp/